

シンポジウム『気象衛星ひまわり～宇宙からの最先端データが 切り拓く未来～』を 7 月 22 日（土）に開催します

静止気象衛星ひまわりの初号機が打ち上げられてから 40 年。この節目の年を記念して、シンポジウム『気象衛星ひまわり～宇宙からの最先端データが切り拓く未来～』を平成 29 年 7 月 22 日（土）に開催します。

講演では、40 年間にわたるひまわりの歴史について振り返ります。ミニプレゼン&パネルディスカッションでは、様々な分野における新世代の静止気象衛星ひまわり 8 号・9 号の利活用の現状と可能性についてパネリストから紹介いただき、ひまわりが切り拓く未来に思いを馳せます。

1. 開催概要

- (1) 日時：平成 29 年 7 月 22 日（土） 13 時 30 分～16 時 00 分（開場 13 時 00 分）
- (2) 場所：一橋講堂（東京都千代田区一ツ橋 2-1-2 学術総合センター内）
- (3) 定員：450 名（事前申込制・先着順・参加費無料）
- (4) 主催：

気象庁、気象ビジネス推進コンソーシアム、地球ウォッチャーズ - 気象友の会 -

- (5) 後援（予定）：

内閣府宇宙開発戦略推進事務局、文部科学省、宇宙航空研究開発機構（JAXA）、気象業務支援センター、気象振興協議会、日本宇宙少年団、経団連宇宙開発利用推進委員会、日本航空宇宙工業会、三菱重工業株式会社、三菱電機株式会社、気象衛星ひまわり運用事業株式会社

- (6) 内容（予定・敬称略）：

基調講演「気象衛星ひまわりと共に」

堀川 康（元 JAXA 理事、元国連宇宙空間平和利用委員会（COPUOS）議長）

講演「宇宙から地球を見つめて 40 年～静止気象衛星「ひまわり」～」

宮本 仁美（気象庁観測部気象衛星課長）

ミニプレゼン&パネルディスカッション「新世代の静止気象衛星の利活用」

パネリスト：

井田 寛子（気象予報士、TBS「あさチャン！」気象情報担当）

可知 美佐子（JAXA 地球観測研究センター 研究領域主幹）

郷原 健（損害保険ジャパン日本興亜株式会社 企業商品業務部 課長代理）

佐々木 華織（農研機構 農業環境変動研究センター 主任研究員）

堀川 康（元 JAXA 理事、元国連宇宙空間平和利用委員会（COPUOS）議長）

三好 建正（理化学研究所 計算科学研究機構 データ同化研究チームリーダー）

宮本 仁美（気象庁観測部気象衛星課長）

司会・コーディネーター： 鈴江 奈々（日本テレビアナウンサー）

2. 参加方法

参加を希望される方は、平成 29 年 7 月 19 日（水）までに気象庁ホームページ内のシンポジウム開催のお知らせページからご応募ください。

<https://omc.tokyo/jmahimawari/input.html>

【本件に関するお問い合わせ先】

気象庁 観測部 気象衛星課 03-3212-8341（内線 2275）